

2024年度 コンポスト活動報告



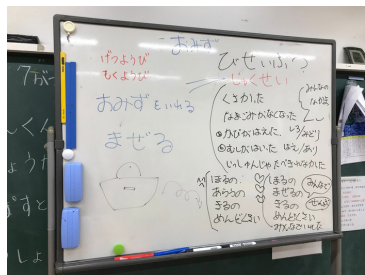
コンポストたい肥作り

地球環境についての興味関心を引き出すねらいで活動で始めたコンポストたい肥作り。出来上がったたい肥を使用し、再び園庭にある畑で野菜を育て、収穫することを目指して行いました。初めは生ゴミの多さに驚いたり、おそろおそろ土を触ってみたりしていた子供たち。繰り返し行っていく中で、バナナや人参の皮などが分解されているのを実際に目にする事で、より興味関心が広がり、5歳児だけでなく、園全体で食べ残しやゴミを減らす取り組みに繋がっていくことができました。



いよいよ成熟期に

本格的なたい肥に向かっていよいよ次の工程へ！2、3日に一度水を40ml入れて上下を返します。この工程を1ヶ月すすめ、乾燥させるとたい肥になるということを学びました。最後はコンポスト活動を通して子供たちが感想を伝えあうことに。虫がいたこと、臭くなっていったこと...これらは全て大事な仲間であることも教えてもらいました。食べない箇所の野菜をまた次の野菜の栄養にすること、そしてその時には新しい仲間たちの力が必要なこと、実際に体験することでしか感じられないことがたくさんありました。



出来上がったたい肥を使い...

毎年、園庭の畑で夏野菜、冬野菜を育てるたいとうこども園。2024年度の冬野菜は自分たちで作りに上げたたい肥も使うことに...より一層気合いが入る子供たちでした。冬野菜の収穫は思っていたよりも難しかったのですが、コンポストのたい肥が入っているから育つはず...どうすればもっと収穫できたのかなどと考えるきっかけになりました。

少量ですが、収穫した野菜を使って、味噌汁作りをしました。もちろん味噌汁で使う味噌は4月頃に自分たちで発酵させていたものです。調理したものはお世話になっている方にも振る舞い、地域の方々との交流にもつながりました。



コンポスト活動を広めるために



コンポスト活動を広めたいという思いから始まったぞう組コンポスト新聞作り。どのような過程で行ったのか、コンポストの中に入れてはいけないものはなかなどグループ毎に話し合って作り上げました。子供たちから「みんなに見てもらえるところに貼ろう!」という声があがったため、遊戯室や玄関、ランチルームに掲示し、たくさんの方に伝えられるよう環境を整えました。

たい肥を寄付した朝倉彫塑館より嬉しいお知らせ

2024年度に出来上がったたい肥を朝倉彫塑館に寄付していたところ、今年たくさんの玉ねぎが収穫できたと嬉しいお話をいただきました。その一部を今度はたいとうこども園に寄付していただき、子供たちにも保護者の方にもお知らせすることができました。いただいた玉ねぎは食育活動として3歳児クラスが皮むきを行いました。



コンポスト活動を通して

地球環境についての興味関心を引き出すことがねらいであった今回のコンポスト活動。身近にある“食”だからこそ、様々なことを考えるきっかけになっていました。食べられないから捨てるではなく、それを利用することでまた美味しい野菜が育っていくことを知り、子供たちなりに命のつながりを感じているようでした。